

きずな

発行日 令和5年12月20日
発行 座間市青少年指導員協議会
住所 座間市立野台1-1-4
(市立青少年センター内)
電話 046(253)8415

第38回座間市民ふるさとまつり

11月19日(日)当日は晴天に恵まれ午前9時から15時まで座間中学校グラウンドにて「第38回座間市民ふるさとまつり」が開催されました。昨年同様、会場が市役所ふれあい広場から、座間中学校グラウンド内となり、大勢の子ども達が青少年指導員ブースの前に行列をつくりました。例年、人気の高いスマートボールは2台用意しましたが、両方共に子ども連れの親子の長い行列ができ、普段デジタルゲームに染まった子ども達には超レアなアナログゲームに胸をワクワク(子どもよりご両親かも?)させながら順番を待ち、いざ、自分の子どもの順番が来ると、一生懸命父親が我が子を応援し、母親はスマホで子どものプレーを真剣に写真におさめていましたが、このような温かい親子の光景が毎年目の当りに見られるのも、青少年指導員であればこそかもしれませんね?また、魚やタコといった絵を描いたポリ皿の釣り堀は幼児にとっても人気があり、例年、ビニールプールの釣り堀内では、しょっちゅうおまつり騒ぎ(お互いのひもとひもが絡みつ়く状態を言う)で、その都度、担当者が絡んだひもをほどいていましたが、子ども達はまつりの終了時間まで釣りを楽しんでいました。



座間市
マスコットキャラクター
ざまりん。

しかし、だんだんとアナログゲームのやり方が分からない(特にベーゴマは回せる方が激減です!)年代が増えており、スマートボールでさえやり方が分からない子どもが増えており、我々、青少年指導員が後世に昔ながらのアナログゲームを継承していかなければならないと痛感させられました。



栗原 中学校区 開催したことに意義がある!!

R5.12.9sat

快晴に恵まれたポカポカ陽気の下、ポッチャやモルックなどのスポーツを大いに楽しみました。ポッチャでは栗中生チームVS小学生チームの接戦に大盛り上がり!初の試みとしては、1箱50食分の非常用保存食「アルファ米」の防災炊き出し体験を企画!「わー!すごい! そうなんだー!」と、初めて見て触れたアルファ米に興味深々な様子で実演は大成功!出来上がった300食分の五目ごはんは参加者全員に配布し、持ち帰りご試食いただきました。

今回の開催にあたり、ご協力いただきました各学校のPTA本部の皆さまには、心より感謝申し上げます。当日は栗中と学区内の小学校ではインフルエンザで学

級閉鎖が出ており、参加者がとても少なかったのですが、数年ぶりに小学生を招き開催できたこと、お子さん連れで参加してくれた先生、在学中はコロナ禍でフェスティバルが中止だったため1度も参加できず、わざわざ遊びに来てくれた卒業生、何よりも栗中生をはじめ、参加してくれた皆さんが思いきり楽しんでくれたことがとても嬉しかった!中止せずに開催して良かった!ありがとう!



相模 中学校区 ようやく戻ったコロナ禍前の光景

R5.12.16sat

12月16日(土)、6中学校区で最後の「相模中学校区青少年フェスティバル」は、昨年同様コミュニティー・スクールとの合同開催。今年はコロナ禍で自粛していたポップコーン、駄菓子も念願の復活、麦茶は2Lボトル9本を用意したが季節外れの暖かさもあり足りなかった。昨年呼べなかった「ごまりん」もサンタ帽子で登場、その人気は相変わらずで会場のあちらこちらで子ども達と記念撮影をする光景が見られた。校庭のサッカーダーツ、ストラックアウト、くつ飛ばし、校舎のスマートボール(景品缶バッジ)、イライラ棒、ボール投げ教室、スカットボール、輪投げには子ども達、体育館の相模中合唱部、BMX、チアダンス、一輪車競技にも多くの観客



が集まった。体育館の最前列には佐藤市長の顔も。今回もご協力いただいた各団体、PTA、相模中の先生、生徒ボランティア、みなさんの力で“僅か2時間のお祭り”は、あっという間に、そして盛況のうちに幕を閉じた。

南 中学校区 自分の能力をフェスティバルでも発揮

R5.12.2sat

南中学校で開催された青少年フェスティバルが大盛況に終わりました。このイベントは、小学4年生から中学3年生までの約200名の子ども達が参加し、一日を通して活気に満ちた雰囲気でした。校庭では、ストラックアウト、キックターゲット、スカットボール、フリースローといった競技が行われ、競い合いながらも楽しみました。また、昔遊びのコーナーでは、竹馬、フラフープ、コマ回しといった懐かしい遊びが提供され、子ども達は新たな体験を楽しみました。体育館では、紙ひこうき飛ばしの競技が開催され、自分達が作った紙ひこうきがどれだけ遠くまで飛ぶかを競い、その場の空気は緊張感に満ちていて、紙ひこうきが飛んでいく様子を

見て、子ども達は大喜びでした。閉会式では、校長先生とのじゃんけん大会が行われ大興奮。勝者には特別な賞が与えられ、その場は拍手と歓声で包まれました。そして、閉会式の後は待ちに待ったカレーの時間。美味しいカレーを食べながら、子ども達はその日の思い出を語り合っていました。このフェスティバルを通して、自分の能力を発揮し、新たな経験を積む機会となりました。



座間 中学校区 みんなの笑顔が大集合!

R5.11.25sat

「第30回座間中少健ふれあいまつり」を開催しました。当日は秋晴れのもと、佐藤座間市長にもご臨席をいただきました。

今回も青少年指導員の他、小中学校地域に関わる皆様からご支援を受け各団体から様々なゲームなどの催しが行われました。今回の体験コーナーでは座間市消防署ご協力のもと、本年3月に更新された主にレスキュー活動を行う「救助工作車」を展示していただきました。子ども達は消防署員から本物の救助器具の使い方を聞いたり直接接触することもできました。昔遊びやバルーンアートなども人が溢れ参加者の合計は約800人の大盛況となりました。恒例の「豚汁やフランクフルト」



も提供され、お腹いっぱいでお楽しみいただきました。

座間市のマスコットキャラクター「ざまりん」も登場し、最後は恒例の〇×ゲームを行い閉会となりました。開催にあたりご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

西 中学校区 優しい先輩に教えてもらい楽しく部活動体験! R5.12.2sat

12月2日(土)に開催された青少年フェスティバルは、大好評の「部活動体験」。中学校ではどんな部活があり、どんな風に活動しているのか見て・体験します。今年の参加は小学6年生92名。3つのグループに分かれ各部活を体験しました。寒さを吹き飛ばす子ども達の元気な声が学校中に溢れ、活気がありました。中学生のお兄さん・お姉さんも、将来の後輩たちに部活動の紹介や楽しさを伝えるという予行練習にもなり、小学生もいろいろ教えてもらいながら文化部・運動部を体験し、楽しく過ごせました。

閉会式後はPTAさん・青少年指導員達で作った美味しいカレーを食べました。みんなで食べるカレーは大



好評で、おかわりする子どもたくさんいました。

寒い中フェスティバルに携わってくださいました皆さま、ありがとうございました。

東 中学校区 やっぱり楽しい!! 青少年フェスティバル R5.12.3sun

今年度は、「フェスティバルに何やりたい?」という生徒達のアンケート結果により、メインは「ドッジボール大会」となりました。13チームが参加し、白熱したゲームで盛り上がり大きな歓声が上がっていました。例年通りのストラックアウトなどのゲームコーナーや、はしご車試乗体験、消防車両展示、消防服試着などでは、小学生や小さな子ども達が楽しんでいる様子がとてもほほえましかったです。また、部活体験では中学生が張り切って参加してくれました。

東中学校恒例の大鍋カレーは、今年もかぐわしい香りを校庭に満たし、大いに皆の食欲を刺激してくれたようです。身体を動かした後のカレーはさぞかし美味し

かったのでしょうか。550食分のカレーはあっという間に皆のお腹へ。おいしくできてよかった~! 参加してくれた子ども達ありがとう! そしてご協力いただいた皆様、改めて感謝申し上げます。



文化部研修会

歌舞伎を体験してみました

8月5日(土)、「歌舞伎教室」と題して、地元で活動されている入谷歌舞伎会の方を講師にお招きし、入谷歌舞伎会のあゆみ・歌舞伎の用語・声色の実演・一演目をビデオ観賞で学び、入谷歌舞伎会指導員による歌舞伎の体験を行いました。

当日の研修会場には、歌舞伎の台本やお手製のポスターなどもご持参いただき、半日ではありましたが、敷居の高い歌舞伎の知識を深めることができました。

この研修は、一年越しの念願叶っての開催で、昨年は「歌舞伎教室」の事前研修として、ハーモニーホールで行われた入谷歌舞伎会の公演を観劇して、衣装や雰囲気を感じ取り、今回の研修に備えました。

地元で伝承していく大変さや必要性など、私達青少年指導員にも何か通じる所を感じました。入谷歌舞伎会の皆様には、わかりやすく教えていただき、感謝いたします。



野外部研修会

ニュースポーツにチャレンジ!

9月3日(日)野外部研修会を実施しました。新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更され、これまでのように戻りつつある今、皆さんと和気あいあいと一緒に体を動かし楽しめるニュースポーツであるモルックとポッチャにチャレンジしてみました。今回、時間配分等からのローカルルールを採用し一見単純で簡単そうに見えましたが、いざ行って見るとボールやモルックを投球しても自分の思うようにできないこと。勝敗がついてしまうことで逆転負けや数点差で負けてしまうと悔しいなど各チーム一致団結して充実した研修ができたかと思っています。

今回、みんなで基礎的なことが体験できたことで今後は各学区内でのイベントでも開催すれば楽しめることと思っています。



座間市・大和市合同研修会

私達は同じ目標を持つ仲間

令和5年10月14日(土)に座間市大和市合同研修会が座間市立青少年センターで開催されました。内容は木工ワークショップです。座間市29人大和市13人の出席でした。

コロナ禍の3年間研修会が見送りとなり、久しぶりの再会に当日の朝は胸の高鳴りを感じました。9班のグループに分かれ自己紹介から始まり親睦を深めました。

座間市青少年指導員で大工さんの角田副会長の指導のもと研修の始まりです。まずは雑学で「太子講」の話をしてくださいました。太子講とは建築に携わっている職人達の集まりで、太子講の太子とは聖徳太子の事で大工工事には欠かすことのできない「差し金」を中国から取り寄せて職人の守護神として崇敬されているようです。実技では、小物入れを作ります。あちこちでトントンカンカンとかなづちの音が響いています。「わあ〜」と悲鳴!手を打ってしまったのでしょうか?しばらくすると「できた!」の歓喜の声とともに完成です。

3年間でできなかった合同研修とは思えない程の絆の深さで私達は同じ目標を持つ仲間だと実感しました。皆様ありがとうございました。



神奈川県青少年指導員表彰

- 令和5年11月12日(日)
- 松田町生涯学習センター

相模中学校区 吉澤 雅規さん

〈受賞コメント〉

長いこと指導員をやっていると予想だにしないことが起こるもので何故こうなったのかよくわからない。初めて訪れた松田町が思い出の地になった。



編集後記

季節も変わり街のあちこちに黄色やオレンジ色の実を実らせた樹々を見かけます。今年では完全に実りの多い年と感じます。

振り返ると数年間、計画していた行事も行うことができず、きずなの紙面を埋めることが大変だったと思います。今年度はふるさとまつり、フェスティバル、研修会等々、様々な催しも再開され日常の生活に戻ってきたことを嬉しく思います。65号は沢山のお知らせを届ける紙面となりました。

〈きずな編集部:平野敦子〉